

株式会社スクロール 株主通信

第79期 報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

証券コード：8005

今日を、いい日に。

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、罹患された方々に謹んでお見舞い申し上げるとともに、医療従事者をはじめとした関係者のみなさまの身を挺したご奮闘への深い感謝と敬意を表します。

さて、当社は、2009年の社名変更以降、約10年にわたり、「DMC(Direct Marketing Conglomerate)複合通販企業戦略」を掲げ、中核事業である通販事業の再構築や積極的なM&Aによる事業ポートフォリオの拡充を図るとともに、基幹システムの刷新、オフィスや物流センターの多拠点化といった事業インフラの整備を着実に進めてまいりました。この結果、当社グループは経済環境やマーケット環境の変化、自然災害やパンデミックなどの外的環境悪化に左右されない経営体制と中長期的な事業成長に必要な基盤を整えることができたと自負しております。

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の経営成績につきましては、厳しい外部環境のなか、各事業において、商品力の強化、売上原価の低減や販促費のコントロールに努めた結果、売上高および営業利益におきまして、3期連続の増収増益となりました。

今後におきましては、引き続き、グループ収益基盤のさらなる強化、ソリューション事業の成長を支える関東方面初の大型物流センター「SLCみらい」の稼働開始による営業強化等を着実に推進し、収益力のあるDMC複合通販企業の第一次完成に向け、グループ一丸となって邁進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 **堀田 守**

株主還元策の強化(2021年3月期から適用)

上記「ごあいさつ」に記載のとおり、当社はこの10年間、「DMC複合通販企業戦略」を掲げ、各種、経営改革を実行してまいりました。この結果、経済環境、マーケット環境の変化に左右されない経営体制および中長期の事業成長に向けた基盤が整ってきたことから、このたび、株主のみなさまへの利益還元を強化することといたしました。

■ 基本方針

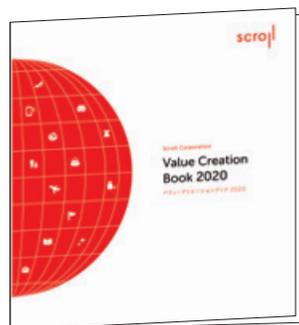
- ・株主のみなさまへの利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけております。
- ・年間配当金15円を下限とし、連結配当性向40%を基本として実施いたします。

■ 次期(2021年3月期)の配当

- ・次期配当金につきましては、中間配当、期末配当ともに2.5円ずつ増配し、1株当たり年間配当金は5円増配の15円(中間配当金7.5円、期末配当金7.5円)といたします。

「Scroll Value Creation Book 2020」の発行について

このたび、DMC複合通販企業の要諦、当社グループが今後めざすべき姿と「中期経営計画みらい(2020～2022年度)」について、投資家のみなさまにより一層ご理解いただくために「Scroll Value Creation Book 2020」を発行いたしました。ぜひ、この機会にスクロールの企業ホームページ(<https://www.scroll.jp/>)もしくは以下QRコードよりご一読ください。



Scroll Value Creation Book 2020
(pdf資料/8,204KB)

決算ハイライト

2019年度(2019年4月1日~2020年3月31日)

<p>売上高</p> <p>72,634百万円 (前期比2.1%増)</p>	<p>営業利益</p> <p>2,145百万円 (前期比26.4%増)</p>	<p>経常利益</p> <p>2,296百万円 (前期比62.3%増)</p>	<p>親会社株主に帰属する 当期純利益</p> <p>703百万円 (前期比11.5%増)</p>
--	---	---	---

業績のポイント

Point
1

売上高:通販事業およびソリューション事業がけん引し、3期連続の増収

基幹事業である通販事業における創業80周年記念企画商品のヒットや非アパレル商材の取扱いの拡大、ソリューション事業における決済代行サービスやメディア(デジタルマーケティング)事業の伸長などにより増収となりました。

Point
2

経常利益:通販事業の売上総利益増加およびeコマース事業の収益基盤強化により増益

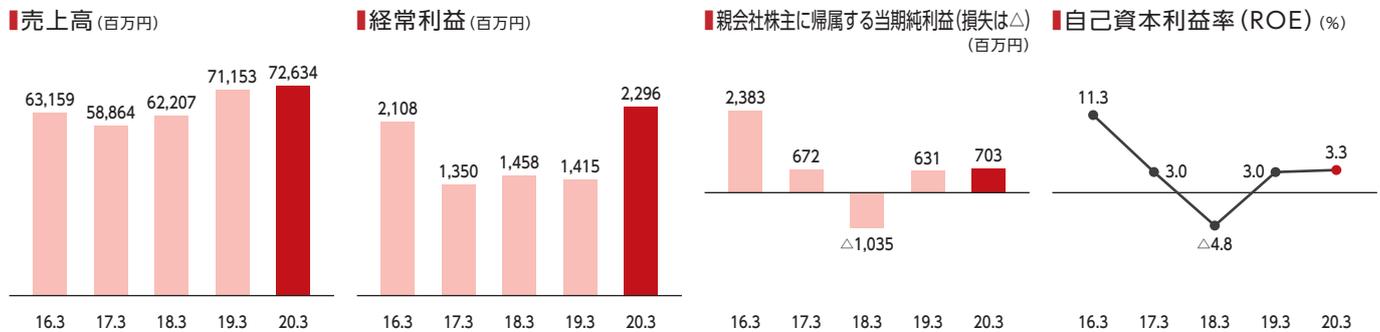
通販事業における増収および売上原価をはじめとしたコスト低減への取組みのほか、eコマース事業におけるオリジナルアウトドア商品の売上増加や防災用品の販売好調による増収により、増益となりました。

Point
3

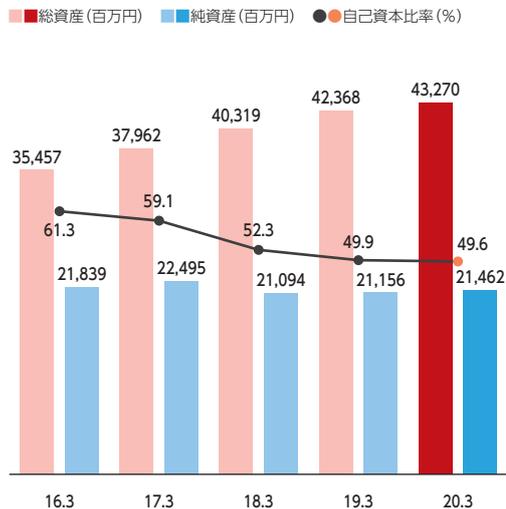
親会社株主に帰属する当期純利益:2期連続の増益

2019年9月に健粧品事業、ソリューション事業におけるのれん等の減損損失を計上したものの、前項のとおり経常利益を確保したことで、2期連続の増益となりました。

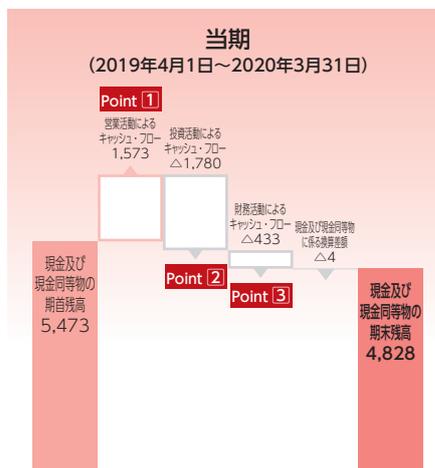
財務ハイライト



総資産/純資産/自己資本比率



キャッシュ・フロー計算書(百万円)



財務(CF)ポイント

- Point 1 営業活動によるキャッシュ・フロー**
営業活動の結果獲得した資金は1,573百万円(前期比236.4%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益などによるものです。
- Point 2 投資活動によるキャッシュ・フロー**
投資活動の結果使用した資金は1,780百万円(同24.9%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得などによるものです。
- Point 3 財務活動によるキャッシュ・フロー**
財務活動の結果使用した資金は433百万円(前期は1,617百万円の獲得)となりました。これは主に、配当金の支払いなどによるものです。

*2017年3月期より表示方法の変更を行っております。2016年3月期につきましては、組替え後の数値を記載しております。

セグメント別概況

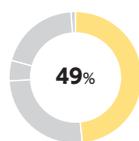
※当期より報告セグメント区分の一部を変更しております。前期実績につきましては、数値を組替えております。

通販事業

「毎日が楽しくなるような商品」を全国の生協をはじめとした組織会員向けに販売する「通販事業」

当社の創業80周年記念の特別企画やお客様の声を生かした商品開発など、価値ある商品づくりに努めてまいりました。また、ターゲットをより明確にしたライフスタイル提案型の売り場の展開を強化し、お客様のニーズにお応えしております。このほか、既存の商材に加え、海外ブランドバッグや化粧品といった当社グループの資産を生かした新たな商材の販売にも取り組んでまいりました。あわせて、商品調達方法の見直しや在庫の適正化を推進することで、原価率の低減にも努めてまいりました。

売上構成比



売上高 **35,546** 百万円
(前期比4.1%増)
セグメント利益 **2,424** 百万円
(前期比25.5%増)

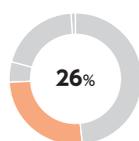


e コマース事業

「毎日が楽しくなるような商品」をインターネットで販売する「e コマース事業」

アウトドア・フィッシング用品のECサイト『ナチュラム』におけるオリジナルブランド『Hi l a n d e r (ハイランダー)』をはじめ、お客様の生活スタイルに着目したオリジナル家具など、独自の魅力ある商品の企画・開発を推進してまいりました。また、外部ECモールへの新規出店を進めるなど、お客様との接点を拡大し、販売を強化しております。2019年3月に子会社化した株式会社ミヨシにおける防災用品の販売も好調に推移いたしました。一部商材において、2019年10月施行の消費税率引上げの影響を受けたものの、セグメント全体として成長を続けております。

売上構成比



売上高 **18,724** 百万円
(前期比0.7%増)
セグメント利益 **461** 百万円
(前期比162.3%増)



健粧品事業

「ちょっといい物語」のあるオリジナルブランド化粧品や健康食品を販売する「健粧品事業」

グループ全体の事業ポートフォリオの観点から、投資育成事業として位置付け、収益構造の確立に向けた事業モデルの転換および事業基盤の整備を進めてまいりました。マーケット環境の変化を受け、卸事業をはじめとする販売が計画どおりに進まなかった一方で、不稼働在庫の処分などの経営改革を行うことで負の遺産を一掃し、次年度の収益化に向けた足場固めを完了させました。

売上構成比



売上高 **3,394** 百万円
(前期比25.9%減)
セグメント損失 **1,122** 百万円
(前期はセグメント損失631百万円)

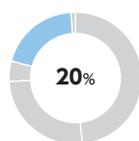


ソリューション事業

EC・通販事業者の事業を発展させるための改善提案を行う「ソリューション事業」

複合的なソリューションサービスの提供による高付加価値ビジネスへの転換を図り、既存サービスの強化や、決済代行サービスおよびメディア(デジタルマーケティング)事業におけるサービスメニューの開発に取り組んでまいりました。また、全国通販3PL戦略として、約60億円の投資となる茨城県つくばみらい市の物流センター(SLCみらい)新設や、関西物流拠点(SLC関西)の拡充など、全国を網羅する物流ネットワークを構築し、これにあわせ、新規顧客の開拓にも注力してまいりました。

売上構成比



売上高 **14,226** 百万円
(前期比10.2%増)
セグメント利益 **361** 百万円
(前期比35.0%減)



旅行事業

日帰りバスツアーや海外からの訪日ツアーなどコトサービスを展開する「旅行事業」

売上高 **704** 百万円
(前期比22.1%減)
セグメント損失 **117** 百万円
(前期はセグメント損失144百万円)

海外事業

グループノウハウや実績を生かし、日本商品の海外販売を行う「海外事業」

売上高 **28** 百万円
(前期比10.5%増)
セグメント損失 **57** 百万円
(前期はセグメント損失473百万円)

グループ管轄事業

物流を中心にスクロールグループのインフラを支える「グループ管轄事業」

売上高 **7** 百万円
(前期比0.1%増)
セグメント利益 **196** 百万円
(前期比229.6%増)

通販事業 お客様ニーズを捉えた商品企画が好調に推移



【さん燦】
燦々と元気に輝けるアクティブシニアの
生き方を応援する情報物販誌



【Brillage (ブリアージュ)】
50代からのおとなの女性のための上質な
素材とディテールにこだわったアイテム
を展開

創業80周年記念カタログの発行

2019年に創業80周年を迎えた当社は、お客様からの長きに渡るご愛顧に感謝を込めて、1年にわたり特別記念カタログをお届けいたしました。

お客様と一緒に作り上げた商品をはじめ「8」にちなんだスペシャルプライス商品など、記念商品を数多くご用意したことで、多くのお客様から好評をいただき、売上拡大につながりました。

プレミアム感のある季刊誌カタログの展開

年齢層・購買実績等によるお客様の明確なターゲットングを行い、毎週配布するカタログと並行して季刊誌カタログ「さん燦」、「Brillage」を展開しています。

商品単体ではなく、「あこがれる暮らし・素敵な生き方」をテーマに、ライフスタイルをまるごと提案することで、品質や価格をワンランク引き上げた商品が受け入れられ、固定ファンが着実に増えています。

ソリューション事業 「スクロールロジスティクスセンターみらい(SLCみらい)」稼働開始

当社は、ソリューション事業の強化・拡大をめざして関東エリア(茨城県つくばみらい市)に新たな物流センター「SLCみらい」を建設し、5月20日に稼働を開始しました。

SLCみらいは、当社の強みである「物流」の枠を超え、マーケティング・BPO・決済等との融合により付加価値を高めた「次世代CRM物流」を実現するための象徴的なセンターとなります。

今後は既存の東海エリア(SLC浜松西、SLC浜松、SLC磐田)、関西エリア(SLC関西)とシステム連携を図り、物流コストおよびリードタイムの最適化などのサービス改善を推進するなど、EC・通販事業者への高付加価値ワンストップソリューションの提供企業として、あらゆるクライアントニーズへ対応してまいります。

全国通販3PL戦略拠点



スクロールロジスティクスセンターみらいの概要

所在地：茨城県つくばみらい市紫峰ヶ丘三丁目36番1
敷地面積：14,976㎡(4,530坪)

延床面積：約30,000㎡(9,000坪相当)
規模・構造：地上5階建、鉄骨造

株主還元方針

利益配分について／当期・次期の配当

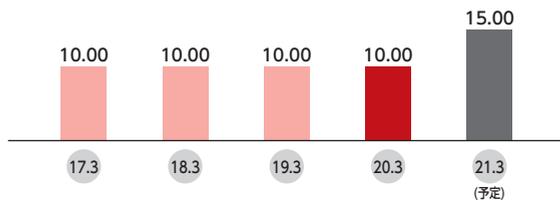
当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本的な方針としております。

当期末の配当金につきましては、1株当たり5円とし、中間配当金と合わせて年間配当金は10円となります。

次期の配当につきましては、1ページに記載のとおり、このたび、株主のみなさまへの利益還元を強化することといたしました。

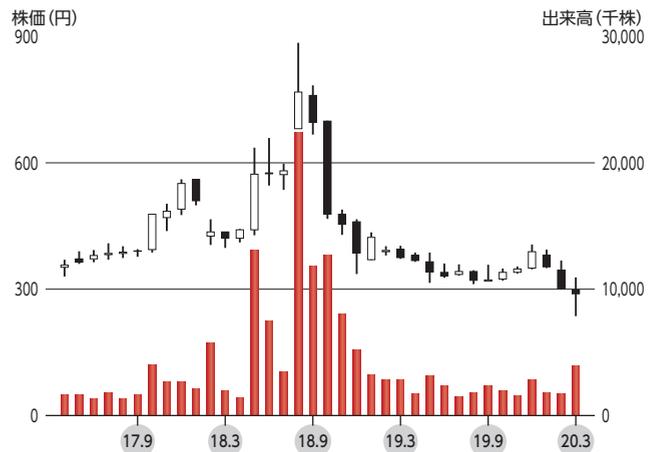
配当金額につきましては、当期の配当金額より1株当たり5円増額し、1株当たり年間配当金15円(中間配当金7.5円、期末配当金7.5円)を予定しております。

■1株当たりの株主配当金(年間)推移(円)



株価・出来高の推移

2017年4月～2020年3月



株主優待について

株主のみなさまに「株主優待券」を進呈しております。

株主優待サイトや、株主優待券と一緒にご案内するパンフレット、もしくは当社グループの対象各社の公式ショッピングサイトに掲載された商品をお買い求めいただく際に、割引券としてご利用いただけます。



《ご保有の株数に対して進呈する株主優待券》

保有株式数	株主優待券額
100株以上 1,000株未満	500円分
1,000株以上10,000株未満	2,500円分
10,000株以上	5,000円分

《長期保有株主優待制度のご案内》

長期保有株主優待制度(基準日:毎年9月30日)

保有株式数	1年以上 継続保有	2年以上 継続保有	3年以上 継続保有
100株以上 1,000株未満	500円分	1,000円分	1,500円分
1,000株以上10,000株未満	1,000円分	2,000円分	3,000円分
10,000株以上	1,500円分	3,000円分	6,000円分

※株主優待券には有効期限がございます。

お手持ちの株主優待券がございましたら、有効期限をご確認のうえ、ご利用ください。

※1 毎年9月30日の当社株主名簿を基準として年1回実施

※2 継続保有の対象となる株主さまは、毎年3月31日および9月30日の当社株主名簿に同一株主番号で、連続して記載または記録されている株主さまとなります。

CSRの取組み

2020年3月、「災害時における応急生活物資供給等の支援に関する協定」を静岡県浜松市と締結

当社は、創業の地である静岡県浜松市を起点に全国で女性用アパレルや服飾雑貨を中心とした通信販売を展開しており、2019年には、防災用品を取り扱う株式会社ミヨシをグループに加え、防災関連商材の取扱いを開始しました。これにより、日ごろご支援いただいている地域のみなさまに対して、これまで以上に、防災時における当社からの支援の幅が広がったものと捉えています。

このたびの協定の締結により、当社グループ商材や物資供給作業時の施設提供等を通じて、地域防災の一助となるよう努めてまいります。



浜松市の鈴木康友市長(写真左)と当社代表取締役会長 堀田守(写真右)



当社取締役 杉本泰宣(写真左)と団体代表のみなさま(写真右の4名)

「公益信託スクロール女性ボランティア基金」

当社は、創業よりお客様に支えられてきたことへの感謝の思いから、1994年に当基金を設立し、静岡県内で高齢者・障がい者・児童に対するボランティア活動を行う女性を中心とする団体を対象に、毎年、助成を実施しています。

当期は、幼稚園や保育園で音楽劇を行う団体や図書館や学校で読み聞かせ会を行う団体など16団体に総額約192万円を助成しました。当期を含めたこれまでの助成額累計は、3,609万円(381件)となりました。

株式・会社の概況

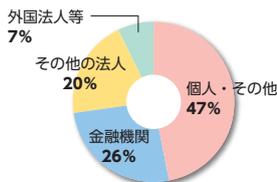
株式の状況

2020年3月31日現在

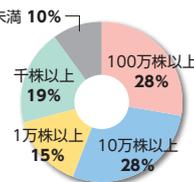
株式の状況

1.発行可能株式の総数	110,000,000株
2.発行済株式の総数	34,818,050株
3.1単元の株式数	100株
4.株主数	32,507名
5.単元株主数	31,157名
6.単元株式数	34,787,500株

〈所有者別株式分布状況〉



〈所有株数別株式分布状況〉



大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
丸紅株式会社	2,841	8.23
スクロール取引先持株会	2,193	6.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,087	6.05
スクロール従業員持株会	1,329	3.85
株式会社静岡銀行	1,261	3.66
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	821	2.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	612	1.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	580	1.68
モリリン株式会社	550	1.60
日本生命保険相互会社	543	1.57

(注) 1. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 事業年度終了から3ヵ月以内に開催いたします。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711(通話料無料)
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
公告の方法 電子公告により行います。
 公告掲載URL <https://www.scroll.jp/>
 ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

会社の概況

2020年5月29日現在

商号 株式会社スクロール(Scroll Corporation)
設立 1943年10月1日
資本金 6,005,434,095円
本社 静岡県浜松市中区佐藤二丁目24番1号
 電話 053-464-1111(代表)
東京本店 東京都品川区東品川二丁目2番24号
 天王洲セントラルタワー25階・26階
 電話 03-5962-0500(代表)
支店・事務所 大阪支店・福岡支店・札幌支店・ジャカルタ事務所・ダッカ事務所
物流センター スクロールロジスティクスセンター浜松西
 スクロールロジスティクスセンター磐田
 スクロールロジスティクスセンターみらい
従業員数 326名(2020年3月31日現在)
グループ従業員総数 864名(2020年3月31日現在)
主な事業内容 女性用アパレル、雑貨、化粧品・健康食品、旅行等の通信販売業(BtoC、BtoBtoC)およびEC・通販事業者へのソリューション事業

主要な子会社 (株)スクロール360
 (株)豆腐の盛田屋
 (株)AXES
 北海道アンソロポロジー(株)
 (株)キャッチボール
 (株)スクロールR&D
 (株)スクロールロジスティクス
 (株)ナチュラルピュリファイ研究所
 (株)キナリ
 (株)ナチュラム
 (株)トラベックスツアーズ
 (株)もしも
 (株)ミヨシ
 詩克楽商貿(上海)有限公司
 成都音和娜網絡服務有限公司

役員一覧

2020年5月29日現在

■取締役

代表取締役会長 堀田 守
 代表取締役社長 鶴見 知久
 取締役副社長 佐藤 浩明
 取締役 小山 優雄
 取締役 山崎 正之
 取締役 杉本 泰宣
 取締役 池田 訓清
 社外取締役(監査等委員) 村瀬 司
 社外取締役(監査等委員) 宮部 貴之
 社外取締役(監査等委員) 鈴木 一雄
 社外取締役(監査等委員) 宮城 政憲

■執行役員

会長 CEO 堀田 守
 社長 COO 鶴見 知久
 副社長執行役員 佐藤 浩明
 常務執行役員 勝田 圭三
 常務執行役員 北嶋 敬二
 常務執行役員 西田 耕三
 執行役員 小山 優雄
 執行役員 山崎 正之
 執行役員 杉本 泰宣
 執行役員 乗松 伸一
 執行役員 大下 公宝
 執行役員 音羽 裕之
 執行役員 池田 訓清
 執行役員 馬淵 雅美
 執行役員 伊熊 忍
 執行役員 秋元 亮
 執行役員 山下 政彦
 執行役員 實藤 裕史

株式会社 スクロール

〒430-0807 静岡県浜松市中区佐藤二丁目24番1号
 TEL 053-464-1111 FAX 053-464-0883
 証券・銘柄コード 8005

企業ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR・決算情報をはじめ、トピックスやCSR活動など最新の情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

スクロール

検索

<https://www.scroll.jp/>

